

○タイトル『千葉観光課 ちはなちゃんゼリー』

○登場人物

・田宮（20代） 千葉県の外国人向けの観光課に働く青年。受け身な性格でよく物事を頼まれる体質。だが、突飛な閃きを思い付くと意気揚々とする。

・ボブ（30代） 観光課のアドバイザーとして雇われた米国人。明快な性格で何事にも乗り気。田宮と仲良く絡む。「面白ければそれでよし！」を信条にしている。

・その他（外人達）

場面転換効果音

ナレーター…千葉県の観光課では、外国人観光客を増やすための新しいアイデアを模索していた。そこで、一番若い田宮が任されたのは、千葉県ご当地名物「ちはなちゃんゼリー」の新作」の発案だった。

シーンⅡ：千葉県庁内観光課オフィス

オフィスの雑音、書類をめくる音

田宮：（ため息をつきながら）外国人観光客が
少ないって…これ、どうしようもないだろう
なあ…。

ドアが開く音

ボブ：（元気よく）田宮くん！元気かい？今日
も新しいアイデアが浮かんだかい？

田宮：（ボブの元気に圧倒されつつ）いや、ま
だ何も…。でも、どうしても何か考えないと
…。

ボブ：（笑顔で）よし、そうだ！千葉の特産品、
「ちはなちゃんゼリー」の新味を考えるのは

どうだ？

田宮：（驚いて）え、新味？でも、何を使えば
…。

ボブ：（得意げに）基本は秋冬ニンジンだろ？
それに、ちよつと冒険してみよう！どうせな
ら、外国人が驚くような味を考えよう！

シーン 転換効果音

シーン 調理室

台所の音、包丁で野菜を切る音

田宮：（不安そうに）本当にこんなに色々混ぜ
て大丈夫なんですかね…。

ボブ：（自信満々）大丈夫、大丈夫！面白けれ
ばそれでいいんだよ！まずはニンジン、それ

から：（奇妙な調味料を次々と取り出す音）

田宮：（驚きながら）えっ、チョコレート？マシユマロ？それに、カレー粉まで？

ボブ：（笑いながら）うん、これで外国人も驚くはずだ！さあ、混ぜよう！

ミキサーの音、混ぜる音

シーン 転換効果音

シーン 試食イベント

イベント会場の雑音、外国人観光客の話し声

外国人：（興味津々）これが新しい「ちはなちゃんゼリー」か。面白そうだね！

外国人：（笑顔で）見た目は：奇抜だけど、

試してみる価値はあるよ！

田宮：（緊張しながら）どうぞ、お召し上がり
ください。

ボブ：（楽しそうに）大丈夫だよ、田宮くん！
ほら、みんな笑ってる！

ゼリーを食べる音、驚きの声と笑い声

外国人：（驚いた表情で）何これ！？ニンジ
ンとチョコレートがこんなに合うなんて！

外国人：（大笑い）カレー粉まで入ってるの
か！これは新しい体験だ！

シーン 転換効果音

シーン ㊦ オフィスに戻って

オフィスの雑音、書類を整理する音

田宮…(ほっとした表情で)やっぱり、面白い味が成功の秘訣なんですね…。

ボブ…(笑顔で)そうだよ！面白ければそれでよし！これで外国人観光客も増えるはずだ！

田宮…(感謝の気持ちを込めて)ボブさん、ありがとうございます。これからも、もっと楽しいアイデアを考えましょう！

ボブ…(元気よく)もちろんだ！次はどんな冒険をしようか、楽しみだな！

幕が閉じる音

ナレーター…こうして田宮とボブのコンビは、千葉県に新たな風を吹き込むべく、日々奮闘して行くのであった。

終
わ
り